

東京都新宿区高田馬場4丁目1番9号
公益財団法人 国際文化カレッジ
理事長 品川 恵保

令和2年度事業報告

1 令和2年度事業報告

I 公1：通信教育およびこれに関連する芸術、緑、ビジネス等の継続的教育・育成事業

[1] 各事業（公1-1～公1-3）の連携

当年度は、公1の事業全体の連携を図るために、フォトマスター検定(公1-2)において、結果通知の際に写真関連の通信教育講座(公1-1)や総合写真展(公1-3)の周知を行い、知識の習得の機会や、作品発表の機会を与えるなどにより、各事業(公1-1～公1-3)の連携、連動を図った。

[2] 公1-1：通信教育

定款第4条(事業)第1項第(1)号「自動車技術、園芸・植物、美術・芸術、職業指導など各種通信教育」、および同第(2)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、事業運営を行った。通信教育講座の普及活動における当年度の受講生(入学者)総数は、775人であった。

通信教育講座について

1. 入学者、退学者および修了者の総数

文部科学省認定講座群においては、当年度の入学者数は270人であった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

課程名	年度当初 受講者数	年度間の異動			年度末 受講者数
		入学者数	中退者数	修了者数	
(合計)	116	270	107	170	109
家庭園芸講座	29	41	15	30	25
自動車講座	15	77	23	56	13
総合盆栽講座	0	0	0	0	0
造園講座	0	0	0	0	0
オートバイ講座	6	11	5	10	2
ハイキングとカメラ技法講座	0	0	0	0	0
庭木と果樹の手入れ講座	8	8	5	4	7
庭の工作物手作り講座	0	0	0	0	0
写真作品創作塾	25	32	14	13	30
植物医講座	20	49	21	28	20
庭師入門講座	7	20	12	9	6
美術品鑑賞鑑定入門	6	32	12	20	6

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群は、当年度の入学者数は505人であった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

課程名	年度当初 受講者数	年度間の異動			年度末 受講者数
		入学者数	中退者数	修了者数	
(合計)	346	505	225	304	322
レタリング講座	48	85	63	10	60
A. 実践ボールペン字	14	37	12	20	19
C. トラブル対応力でチャンスに変える	10	34	20	15	9
D. コーチングで人を動かす	29	92	56	40	25
E. 説得力・交渉力を行使する	3	19	7	13	2
F. コミュニケーションで自信と信頼を得る	24	39	10	30	23
G. アサーション表現力で魅了する	33	16	0	19	30
I. 問題解決能力で現状を打破する	12	3	0	5	10
J. リーダーシップを発揮する	19	26	10	25	10
K. 論理的思考で実現させる	11	16	3	15	9
L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる	25	7	2	10	20
M. プレゼンテーションで成功する	11	4	0	5	10
N. 心理学でビジネスの成果を生む	29	51	4	46	30
O. 図解思考がクリアにする	25	19	16	8	20
P. 情報を成果に育てる	0	5	0	5	0
Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	0	3	3	0	0
R. 眠っている9割を刺激する脳の活用法	44	26	6	25	39
S. 誰でもできる時間の超活用法	0	1	0	1	0
T. 誰もが納得、数字の力	0	3	1	1	1
U. 実効性のあるキャリアデザイン	3	3	1	3	2
V. 新・人間関係のビタミン	0	0	0	0	0
W. 強いビジネス組織をつくる	2	0	0	1	1
X. コンサル型ビジネスの達人になる	1	2	1	2	0
Y. ビジネスで恥をかかない国語学	3	14	10	5	2

2. 普及活動について

園芸、植物関連講座では、肥料・農薬・種苗メーカーを始めとする園芸・農業関連会社やホームセンターなどの職域における受講需要につき、今後もこの分野への普及活動の可能性を追求して行くものとする。

自動車講座や家庭園芸講座では、矯正施設における社会復帰等に向けた教育を目的としての採用が、当年度も継続して行われた。これにより、当年度も該当者の社会復帰等に向けた教育支援に資することができた。

写真作品創作塾については、受験者が安定的に推移しているフォトマスター検定事業（公1-2）と連携して、受験者の学習に資する講座としての普及活動も行った。

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群においては、これらを採用する企業や地方公共団体などが着実に増加してきた環境を受けて、当年度の受講生数も比較的安定しており、文部科学省認定講座群と合わせて幅広い領域における生涯学習、社会教育を推進することができた。次年度も継続してさらなる普及活動を行っていく。なお、総合盆栽講座、造園講座、ハイキングとカメラ技法講座の計3講座は、普及活動について長年検討を重ねてきたが、いずれも講座運営の見込みが難しいので、令和3年度に廃講申請を行う。

3. 学習指導

学習指導における学習指導者（専門家）および教務責任者は下表の通りに組織して、各講座とも充実した添削指導を行い、学習途上における質問（質疑応答）に対しては詳細・的確・迅速に対応して受講生の学習意欲の向上を図った。

[文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者]

講座名	学習指導者	教務責任者
家庭園芸講座	計3名 山形大学農学部卒：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
自動車講座	計3名 元読売江東理工専門学校講師：1名／ 読売自動車大学校専任教員：1名／ 中央大学理工学部卒：1名	事務局職員 1名
総合盆栽講座	計2名 山形大学農学部卒：1名／ ㈱花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名	事務局職員 1名
造園講座	計3名 造園設計事務所主宰者：1名／ ㈱花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
オートバイ講座	計3名 読売自動車大学校専任教員：1名／ 三井住友海上火災保険㈱アジャスター・ 元読売江東理工専門学校講師：1名／ バイクジャーナリスト：1名	事務局職員 1名
ハイキングとカメラ 技法講座	計3名 写真家：1名／ 元国立科学博物館付属自然教育園研究官：1名／ 国立科学博物館付属自然教育園研究官：1名	事務局職員 1名
庭木と果樹の手入れ 講座	計4名 造園設計事務所主宰者：1名／ 2級造園施工管理技士：1名／ 山形大学農学部卒：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
庭の工作物手作り 講座	計3名 造園設計事務所主宰者：1名／ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
植物医講座	計3名 東京農業大学農学部卒：2名／ 千葉大学環境健康フィールド 科学センター・農学博士：1名	事務局職員 1名
写真作品創作塾	計3名 写真家：3名	事務局職員 1名
庭師入門講座	計3名 1級造園施工管理技士：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
美術品鑑賞・鑑定 入門講座	計4名 武蔵野美術大学卒：1名／ 美術評論・鑑定家：1名／ 絵画保存修復工房代表：1名／ 陶磁資料館館長補佐：1名	事務局職員 1名
文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者の変更について 当年度は特に変更ありませんでした。		

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の学習指導者および教務責任者]

講座名	学習指導者	教務責任者
レタリング講座	計2名 レタリング技能検定試験委員:2名	事務局職員 1名
実践ボールペン字講座	計2名 大東文化大学日本文学科卒・硬筆・毛筆書家: 1名/法政大学文学部書道科履修・硬筆・毛 筆書家:1名	事務局職員 1名
トラブル対応力でチャンスに変える/ コーチングで人を動かす/説得力・交渉 力を行使する/コミュニケーションで 自信と信頼を得る/アサーション表現 力で魅了する/問題解決能力で表現を 打破する/リーダーシップを発揮する /論理的思考で実現させる/発想力・創 造力でビジョンを練り上げる/プレゼ ンテーションで成功する/心理学でビ ジネスの成果を生む/図解思考がクリ アにする/情報を成果に育てる/思わ ず誰かに話したくなるビジネス雑学/ 眠っている9割を刺激する脳の活性化法 /誰でもできる時間の超活用法/誰も が納得、数字の力/実効性のあるキャリ アデザイン/新・人間関係のビタミン/ 強いビジネス組織をつくる/コンサル 型ビジネスの達人になる/ビジネスで 恥をかかない国語学	計2名 慶應義塾大学商学部卒・編集 企画制作事務所エムスリー代 表:1名/慶應義塾大学文学 部社会学科卒・エム・エフ・ ジー(株)顧問:1名	事務局職員 2名

添削指導の実施延べ回数は全講座の合計で2,211件、質疑応答は全講座の合計
で244件であった(細目は下表)。

なお、企業・団体における受講に対しては、人事部などの統括部署宛に、受講
生全員の学習進度や成績などを細かく報告するサービスも例年同様に実施し
た。

[文部科学省認定講座群の添削指導状況]

課程名	実施延回数	一人平均 回数	受けた者の 実人数
(合計)	1,601	4.9	327
家庭園芸講座	251	6.3	40
自動車講座	807	12.1	67
総合盆栽講座	0	0.0	0
造園講座	0	0.0	0
オートバイ講座	20	4.2	5
ハイキングとカメラ技法講座	0	0.0	0
庭木と果樹の手入れ講座	29	3.1	9
庭の工作物手作り講座	0	0.0	0
写真作品創作塾	141	6.5	22
植物医講座	180	1.4	129
庭師入門講座	44	1.5	29
美術品鑑賞鑑定入門	129	4.9	26

[文部科学省認定講座に進じて運営する講座群の添削指導状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	610	1.7	368
レタリング講座	87	1.7	51
A. 実践ボールペン字	88	2.2	40
C.トラブル対応力でチャンスに変える	15	1.4	11
D.コーチングで人を動かす	50	1.6	31
E.説得力・交渉力を行使する	22	1.3	17
F.コミュニケーションで自信と信頼を得る	47	1.6	29
G.アサーション表現力で魅了する	24	1.6	15
I.問題解決能力で現状を打破する	3	1.5	2
J.リーダーシップを発揮する	45	1.7	26
K.論理的思考で実現させる	24	1.3	18
L.発想力・創造力でビジョンを練り上げる	16	1.5	11
M.プレゼンテーションで成功する	1	1.4	1
N.心理学でビジネスの成果を生む	85	1.4	61
O.図解思考がクリアにする	27	1.5	18
P.情報を成果に育てる	0	0.0	0
Q.思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	0	0.0	0
R.眠っている9割を刺激する脳の活性化法	57	2.1	27
S.誰でもできる時間の超活用法	4	2.3	2
T.誰もが納得、数字の力	0	0.9	0
U.実効性のあるキャリアデザイン	2	2.0	1
V.新・人間関係のビタミン	0	0.0	0
W.強いビジネス組織をつくる	0	0.0	0
X.コンサル型ビジネスの達人になる	0	0.0	0
Y.ビジネスで恥をかかない国語学	13	2.1	6

[文部科学省認定講座群の質疑応答状況]

総合盆栽講座	0	0.0	0
造園講座	0	0.0	0
オートバイ講座	16	1.0	16
ハイキングとカメラ技法講座	0	0.0	0
庭木と果樹の手入れ講座	4	1.9	2
庭の工作物手作り講座	0	0.0	0
写真作品創作塾	29	1.5	19
植物医講座	20	1.9	11
庭師入門講座	2	1.5	1
美術品鑑賞鑑定入門	20	1.9	11

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の質疑応答状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	52	1.0	52
レタリング講座	25	1.0	25
A. 実践ボールペン字	0	0.0	0
C. トラブル対応力でチャンスに変える	0	0.0	0
D. コーチングで人を動かす	5	1.0	5
E. 説得力・交渉力を行使する	0	0.0	0
F. コミュニケーションで自信と信頼を得る	3	1.0	3
G. アサーション表現力で魅了する	4	1.0	4
I. 問題解決能力で現状を打破する	0	0.0	0
J. リーダーシップを発揮する	0	0.0	0
K. 論理的思考で実現させる	0	0.0	0
L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる	1	1.0	1
M. プレゼンテーションで成功する	0	0.0	0
N. 心理学でビジネスの成果を生む	5	1.0	5
O. 図解思考がクリアにする	2	1.0	2
P. 情報を成果に育てる	0	0.0	0
Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	0	0.0	0
R. 眠っている9割を刺激する脳の活性化法	2	1.0	2
S. 誰でもできる時間の超活用法	0	0.0	0
T. 誰もが納得、数字の力	0	0.0	0
U. 実効性のあるキャリアデザイン	3	1.0	3
V. 新・人間関係のビタミン	0	0.0	0
W. 強いビジネス組織をつくる	0	0.0	0
X. コンサル型ビジネスの達人になる	2	1.0	2
Y. ビジネスで恥をかかない国語学	0	0.0	0

[4]公 1-2：通信教育に関連する知識・技能の検定

定款第4条（事業）第1項第（4）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する知識・技能の検定」に基づき、当法人の写真関係の通信教育講座（写真作品創作塾、ハイキングとカメラ技法講座）に関連する、第18回フォトマスター／写真とカメラの実用知識検定（略称：フォトマスター検定）を、文部科学省後援により以下の通り実施した。

（イ）試験実施日

令和2年 11月15日・日曜日（通常日程試験）

及び11月16日・月曜日（特別日程試験）

及び11月17日・火曜日（特別日程試験）

（ロ）試験会場

下記、各都道府県の一般会場及び団体受験会場（準会場）の、全国106箇所において実施した。

No.	会場略称	試験日	No.	会場略称	試験日	No.	会場略称	試験日	No.	会場略称	試験日
1	札幌01	11月15日	28	大阪01	11月15日	55	D108	11月15日	82	E213	11月16日
2	青森01	11月15日	29	兵庫01	11月15日	56	D109	11月15日	83	E214	11月16日
3	岩手01	11月15日	30	奈良01	11月15日	57	D110	11月15日	84	E215	11月16日
4	宮城01	11月15日	31	和歌01	11月15日	58	D111	11月15日	85	E216	11月16日
5	秋田01	11月15日	32	島根01	11月15日	59	D112	11月15日	86	E217	11月16日
6	山形01	11月15日	33	岡山01	11月15日	60	D113	11月15日	87	E218	11月16日
7	福島01	11月15日	34	広島01	11月15日	61	D114	11月15日	88	F301	11月17日
8	茨城01	11月15日	35	山口01	11月15日	62	D115	11月15日	89	F302	11月17日
9	栃木01	11月15日	36	徳島01	11月15日	63	D116	11月15日	90	F303	11月17日
10	埼玉01	11月15日	37	香川01	11月15日	64	D117	11月15日	91	F304	11月17日
11	千葉01	11月15日	38	愛媛01	11月15日	65	D118	11月15日	92	F305	11月17日
12	東京01	11月15日	39	高知01	11月15日	66	D119	11月15日	93	F306	11月17日
13	東京02	11月15日	40	福岡01	11月15日	67	D120	11月15日	94	F307	11月17日
14	神奈01	11月15日	41	佐賀01	11月15日	68	D121	11月15日	95	F308	11月17日
15	新潟01	11月15日	42	長崎01	11月15日	69	D122	11月15日	96	F309	11月17日
16	富山01	11月15日	43	熊本01	11月15日	70	E201	11月16日	97	F310	11月17日
17	石川01	11月15日	44	大分01	11月15日	71	E202	11月16日	98	F311	11月17日
18	福井01	11月15日	45	宮崎01	11月15日	72	E203	11月16日	99	F312	11月17日
19	山梨01	11月15日	46	鹿児島01	11月15日	73	E204	11月16日	100	F313	11月17日
20	長野01	11月15日	47	沖縄01	11月15日	74	E205	11月16日	101	F314	11月17日
21	岐阜01	11月15日	48	D101	11月15日	75	E206	11月16日	102	F315	11月17日
22	静岡01	11月15日	49	D102	11月15日	76	E207	11月16日	103	F316	11月17日
23	愛知01	11月15日	50	D103	11月15日	77	E208	11月16日	104	F317	11月17日
24	三重01	11月15日	51	D104	11月15日	78	E209	11月16日	105	F318	11月17日
25	滋賀01	11月15日	52	D105	11月15日	79	E210	11月16日	106	F319	11月17日
26	京都01	11月15日	53	D106	11月15日	80	E211	11月16日			
27	京都02	11月15日	54	D107	11月15日	81	E212	11月16日			

(ハ) 受験者数、合格者数等

写真・カメラに関わる実用知識、技能を客観的に評価認定する検定事業として、当年度は下表の通り、3級～1級の応募者数は4,071人、受験者数は3,581人、合格者数は1,848人の結果であった。なお、受験料は、前年度同様に自主会場（準会場）を設置しての団体受験の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は5%を割り引いて実施した。また、不特定多数が集う本会場については、感染対策グッズを準備するなど感染症対策を実施した。

受験級	区 分	応募者数	受験者数	合格者数
3 級	個人受験・一般会場	487	420	371
	団体・一般会場受験	35	34	26
	団体・自主会場受験	416	375	203
2 級	個人受験・一般会場	700	610	502
	団体・一般会場受験	47	40	27
	団体・自主会場受験	605	548	206
準1級	個人受験・一般会場	544	468	271
	団体・一般会場受験	37	34	13
	団体・自主会場受験	251	235	48
1 級	個人受験・一般会場	554	462	137
	団体・一般会場受験	47	46	10
	団体・自主会場受験	348	309	34
小 計		4,071	3,581	1,848
EX認定コース	(1ジャンル認定)	22	22	24
	(総合認定)	35	35	22
	(追加総合認定)	8	8	6
小 計		65	65	52
合 計		4,136	3,646	1,900

(ニ) 普及活動

各階級の受験者のプロフィールを下表の通りに設定し、一般写真愛好者から写真・カメラ関連業界の従事者に至るまでに機能する検定として、当法人の写真関連通信教育講座の受講生・修了生をはじめ、当法人が開催する総合写真展の出品者・観覧者や全国の写真愛好者、写真・カメラ関連業界など不特定多数の者を対象として、関連施設への受験案内書の配布やDM、関係社等への団体受験の広報活動により受験者を募る普及活動を行った。

階級	一般グループ	業界関連グループ
1 級	写真専攻大学生 優秀レベル	メーカー 営業責任者
	写真専門学校生 優秀レベル	販売店 販売責任者
	メーカー等のスクール指導者	プロラボ/総合ラボ 責任者
		写真館 撮影担当
		アシスタントカメラマン
		専門誌編集者
準1級	写真専攻大学生 並レベル	メーカー 営業担当
	写真専門学校生 並レベル	販売店 販売担当
	高校写真部顧問	プロラボ/総合ラボ 従事者
	写真愛好家 歴10年以上	技術・営業担当者
	地域のサークルリーダー	
2 級	中学校写真顧問	メーカー 事務従事者
	高校写真部員	ミニラボ オペレーター
	写真愛好家 歴5～10年	写真館 窓口担当
	メーカー等のスクールメンバー	一般紙誌編集者
	地域のサークルメンバー	各種企業広報担当者
	カメラ機械愛好家	デザイナーアシスタント
	カメラ雑誌愛読者	フリー記者・ライター
		マスコミ・ジャーナリスト志望者
3 級	中学写真部員	D P E 窓口担当者
	趣味愛好家 歴5年未満	(取次店含む)
	撮影機会の多い一般者	

(ホ) 検定委員等

試験問題の作成、合否判定等に関わる当年度の検定委員は、下表の通りの写真家および写真・カメラ関連メーカー技術者により構成し、資機材の汎用的技術・機能はもとよりメーカー毎の独自の技術や機能等も試験問題に正確に反映させた。また、試験問題について、(一社)日本写真学会の学識経験者による監修も経て、より有意なものとするに努めた。

	氏名等
プロ写真家・ 評論家関係	徳光ゆかり／テラウチマサト／市川泰憲／ 板見浩史／赤松秀夫／枝常伊佐央／大久保晴功
写真・カメラメ ーカー技術者 関係	オリンパス(株)：1名／ キヤノンマーケティングジャパン(株)：1名／ (株)タムロン：1名／(株)シグマ：1名／ (株)ケンコー・トキナー：1名／ (株)ニコンイメージングジャパン：1名／ パナソニック(株)：1名／富士フイルムイメージングシス テムズ(株)：1名／リコーイメージング(株)：1名／ (株)市川ソフトラボラトリー：1名

(ヘ) 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	1 団体	4 名(各級 1 名)
当法人による表彰	最優秀団体賞 1 団体 優秀団体賞 6 団体 人材育成貢献賞 4 団体	最優秀個人賞 7 名 優秀個人賞 39 名 (各級合計)

[5] 公1-3：写真・水墨画・絵画等の展覧会

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、当法人の通信教育受講生の継続学習の促進や広く一般の美術、芸術文化の普及、振興に寄与する目的で、以下の通りに展覧会を開催した。

(イ) 総合写真展

1. 展示点数等

当年度・第24回展では、審査により入選以上に該当した1,430点の作品を展覧会会場(下記4.)に展示して公開した。

	出品部門	展示作品数
半切サイズ	フィルム写真部門	86
	デジタル写真部門	858
全紙サイズ	フィルム写真部門	35
	デジタル写真部門	451
合 計		1,430

2. 公募活動

前年度同様、当法人の「写真作品創作塾」、「ハイキングとカメラ技法講座」といった写真関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、写真作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が実施するフォトマスター検定の受験者、あるいは当法人が運営する展示館施設の観覧者・利用者を含む不特定多数の者に門戸を開く公募展として、カメラ関係専門誌、案内DM、カメラ関係販売店店頭でのリーフレット配布等の広報活動により作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

審査員は、実績のある写真家を中心とする以下の専門家で構成し、応募作品の審査方法、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。なお、最終審査はその厳正を図るために、出品作品を希望規定サイズ(半切または全紙サイズ)にプリント(紙焼き)した作品により行った。

氏 名	経 歴
川合 麻紀	プロ写真家
徳光 ゆかり	プロ写真家
テラウチマサト	プロ写真家
板見 浩史	写真評論家
丸林 正則	プロ写真家

4. 会期、会場、参観者数等

令和2年12月4日から12月10日の会期で、東京都美術館・2階第3～4展示室・1階第4展示室(東京都台東区上野公園8-36)を会場に、写真文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示・公表し、開催期間中の参観者は2,267人であった。開催に際しては、東京都や東京都美術館のガイドライン等に即して飛沫防止や密対策等を行った。

5. 表彰式

表彰式は、令和2年12月4日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の社会情勢により、開催中止とした。授賞賞状については、作品と同送にて出品者に届けた。

6. 審査結果の公表

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また上位作品については作品写真・氏名・賞名を全国版写真専門誌に掲載して公表した。

(ロ) 日美展「水墨画部門」

第4回展として令和2年8月6日から15日の会期で開催を予定したが、作品募集時期および審査時期に緊急事態宣言が発出され、夏季の状況も見通せなくなったため、社会的要請も踏まえて開催を中止した。

なお、すでに作品の募集受付は完了していたため、中止については各出品者個人へは書面郵送にて通知し、一般にはWEBにて告知した。募集された作品については出品者の方への負担を求めることなく各位に返却した。

応募された作品総数は609点であった。

(ハ) 日美展「絵画部門」

第4回展として令和2年8月6日から15日の会期で開催を予定したが、作品募集時期および審査時期に緊急事態宣言が発出され、夏季の状況も見通せなくなったため、社会的要請も踏まえて開催を中止した。

なお、すでに作品の募集受付は完了していたため、中止については各出品者個人へは書面郵送にて通知し、一般にはWEBにて告知した。募集された作品については出品者の方への負担を求めることなく各位に返却した。

応募された作品総数は1,013点であった。

[6] 公1-4: 芸術・自然科学に関する展示館施設

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の通りに事業を運営した。

(イ) 軽井沢千住博美術館

1. 展示作品等

一般の観覧者のもとより、当法人の「美術品鑑賞・鑑定入門講座」、「写真作品創作塾」、「レタリング講座」といった美術・芸術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生の継続的学習に資し、あるいは当法人が開催する「日美展(水墨画部門、絵画部門)」、「総合写真展」の出品者、観覧者を含む不特定多数の者に対する美術・芸術の涵養にも資するべく、「滝滝滝展」と題して、正面から見える壁面をすべて千住の代表作である「滝」とし、圧倒的な世界観を表現した。

2. 開館日数、入館者数、障害者の入館料免除対応等

当年度は、令和2年4月1日から令和3年3月31日(令和2年12月26日から令和3年2月28日の期間は冬期休館)の期間であったが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出を受け、令和2年4月7日から同5月21日まで臨時休館としたため、開館日数は231日となった。秋口からのGoToトラベルにおいて、前年実績を上回るようになったが、夏季までの入館者が大きく前年割れであったことから、延べ入館者数は下表の通り29,333名と、前年実績の約50,000人からの大幅減であった。なお、入館料を全額免除としている障害者および中学生以下の当年度の入館者数は、障害者が1,033名、中学生以下が1,107名となり、一定の社会貢献を果たすことができた。

開館に際しては、WEBや敷地内各所でのマスク消毒等のお願いを実施し、職員は日々の検温、各種飛沫対策を実施した。また、手の触れる場所等は高頻度での消毒を実施し、感染防止策を実行した。

入館者区分		入館人数
有料入館者	一般・個人	27,193
入館料免除対象者	障害者	1,033
	中学生以下	1,107
合計		29,333

(ロ) 軽井沢ギャラリー館

当年度は、昨年度の3月1日から4月6日までを、公1-3(ハ)事業との連携として「カメビ観光展」、4月7日から6月3日までは、臨時休館に伴い企画を延期し、ギャラリーは閉鎖、6月4日から8月2日までを、公1-3(ハ)事業との連携として「日本画巨匠展～画家たちに描かれた富士～」を、8月5日から9月2日までを公1-3(イ)事業との連携として「軽井沢『追分写遊会』写真展」、9月5日から10月5日までを、公1-3(ハ)事業との連携として「天紫生絵画展」、10月17日から11月9日までを、公1-3(ハ)事業との連携として「千住博～高野山金剛峯寺襖絵奉納記念展～」、11月11日から12月25日までを「UWC ISAK JAPAN 作品展『FOUR SEASONS』」、本年3月1日から次年度4月12日までを、公1-3(ハ)事業との連携として「カメビ観光2展」を開催した。このように、当ギャラリー館では、多角的な展示を行なうことで、軽井沢千住博美術館の観覧と合わせて美術、芸術文化等の振興に広く寄与するべく事業を実施した。

開催期間	催し内容
令和2年3月1日～ 令和2年4月6日	カメビ観光展

令和2年4月7日 ~ 令和2年6月3日	閉鎖
令和2年6月4日 ~ 令和2年8月2日	日本画巨匠展～画家たちに描かれた富士～
令和2年8月5日 ~ 令和2年9月2日	軽井沢『追分写遊会』写真展
令和2年9月5日 ~ 令和2年10月5日	天紫生絵画展
令和2年10月17日 ~ 令和2年11月9日	千住博 ～高野山金剛峯寺襖絵奉納記念展～
令和2年11月11日 ~ 令和2年12月25日	UWC ISAK JAPAN 作品展『FOUR SEASONS』
令和3年3月1日 ~ (令和3年4月12日)	カメビ観光2展

(ハ) 軽井沢カラーリーフガーデン

1. カラーリーフガーデンの活用

Acer platanoides 'Crimson king' (ノルウェーカエデ 'クリムソン・キング' /カエデ科) や *Betula pendula* 'Golden Cloud' (ヨーロッパシラカバ 'ゴールドデン・クラウド' /カバノキ科) などの木本、 *Lysimachia ciliata* 'Fire Cracker' (リシマキア・キリアタ 'ファイヤー・クラッカー' /サクラソウ科) や *Tradescantia × andersoniana* 'Sweet Kate' (トラデスカンティア・アンダーソニアナ 'スイート・ケイト' /ツユクサ科) などの草本等々、他の植物園等では見出し難いカラーリーフプランツを約150種類以上、総数約6万株植栽している本ガーデンについては、植栽している主な種類の名前を科名・学名付で表記し、その写真も掲載した銘板を作成してガーデン内の主な繁茂地に設置し観覧者の啓発、教化に努めている。本年度は台風などでの大きな被害はなかったが、定期的なメンテナンスを実施し、散策路の安全保持と景観維持に努めた。

(ニ) 令和2年度の美術品購入について

美術品購入は、「美術品購入積立資金」計画に基づいて行われている。令和2年度は、総額・44,000,000円を積立資金より取崩し費消した。費用の明細は以下の通りである。

- ①千住博『海と空』(2017年) 購入費・11,000,000円、
- ②千住博『冬の一隅』(2020年) 購入費・33,000,000円、

Ⅱ 収 1：出版、物品販売、展覧会に関わる表装代行・親睦パーティー、貸室および業務受託の事業計画

[1]収 1-1：出版

定款第4条（事業）第1項第（3）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する各種出版物の刊行」に基づき、当法人が運営する通信教育講座の学習内容等に関連する以下の検定試験の受験対策用教本等を、受験希望者にカタログで案内するなどして販売した。当事業の計画では、フォトマスター検定関係：1,500冊、デジタル技術検定関係が1,100冊、レタリング技能検定関係で4,000冊であった。実販売数は、フォトマスター検定関係は、目標をわずかに超える1,525冊、デジタル技術検定関係は、ほぼ計画通りの1,024冊、レタリング技能検定関係は、目標の9割である3,874部となった。ラジオ・音響技能検定関係は休止により販売予測を計画せず販売実績もなかった。

関連する当法人の通信教育講座等	出版物の内容・種類と販売部数
文部科学省認定 「写真作品創作塾」 （公1-1） 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 （公1-1） フォトマスター検定 （公1-2）	写真・カメラの全般的な知識、技法に関わるフォトマスター検定について、その過去問題の解答・解説を行う受験対策用教本。写真・カメラの全般的な基礎知識、基本技法について学ぶ教本 <出版物の種類> ①フォト検 過去問題の解答と解説1～7／②フォトマスター検定公式テキスト <販売部数> 当年度の販売部数は、合計：1,525部 ①フォト検 過去問題の解答と解説1～7：827部 フォトマスター検定公式テキスト：698部
文部科学省認定 「自動車講座」 （公1-1） 文部科学省認定 「オートバイ講座」 （公1-1） 文部科学省認定 「写真作品創作塾」 （公1-1） 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 （公1-1） フォトマスター検定 （公1-2）	自動車・オートバイ、あるいはデジタルカメラのデジタルシステムや音響に関係する、デジタル技術検定、またはラジオ・音響技能検定の過去問題の解答・解説等の受験対策用教本。 <出版物の種類：デジタル技術検定関係> 4級試験問題集／3級試験問題集／2級制御部門試験問題集／2級情報部門試験問題集 <出版物の種類：ラジオ音響技能検定関係> 4級最新既出問題集／4級受験読本／3級最新既出問題集／3級受験読本／2級最新既出問題集／2級技術教本 <販売部数> 当年度の販売部数はデジタル技術検定関係で計1,024部、ラジオ音響技能検定関係で計0部、合計1,024部であった。
レタリング講座 （公1-1） レタリング技能検定 （収1-5）	レタリングに関する用語解説、常用漢字の文字見本帳の役割をはたすもの。下書きから墨入れまで手順を追って、レタリングの技法を詳細に解説したもの。検定試験の各級の範囲や選定基準が網羅されており、レタリング技能検定のすべてが分かる参考書。 <出版物の種類> 書体サンプル集／文字骨格練習帳 <販売部数> 書体サンプル集：3,371部。文字骨格練習帳：503部

[2]収 1-2 : 物品販売

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、以下の通りに当法人主催の展覧会に関わる出品作品の制作等に必要の用具用材類販売、出品者自身の展示作品を印刷するなどした記念品類の販売、および展覧会会場に設置した売店での用具用材類の販売、ならびに当法人の展示館施設(ミュージアムショップ)における観覧者への関連商品等の販売を行った。なお、日美展に関わる出品希望者または出品者に対する関連商品の販売は、出品希望者に配布する出品資料へのカタログを同封するなどして購入者を募った。当事業は社会情勢など購買層の購買力・購買意欲に大きく影響されるため、予想を的確に見込むことは非常に難しいが、魅力ある商品の展開を模索し続けることで、一人当たりの購買金額の向上を目指し、収益を改善させ収益性を高めることを目標とする。

	販売品目と販売点数等
日美展「絵画部門」関連商品類(公13)	<p><カタログでの販売品目> 油絵用筆類/油絵具類/キャンバス類/画用液/水彩用筆類/水彩絵具類/水彩用紙/色鉛筆/日本画用筆/麻紙ボード/パステル/パステル用フィキサチーフ/パステル用スケッチブック/汎用スケッチブック/ちぎり絵用和紙類/ちぎり絵用台紙/顔彩類/画用印/絵手紙用筆/絵手紙箋/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約65品目</p> <p><同販売点数等> 当年度は、購入者が160人、販売商品の延べ販売数が557点であった。なお、展覧会中止により自作印刷商品については実績がなかった。</p>
日美展「水墨画部門」関連商品類(公13)	<p><カタログでの販売品目> 毛筆類/墨/墨液/顔彩/用紙類/印泥付雅印/印泥/印矩/下敷/紙断包丁/ドーサ塗り用刷毛/ドーサ液/わんぱう/膠液/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約160品目</p> <p><同販売点数等> 当年度は、購入者が167人、販売商品の延べ販売数が507点であった。なお、展覧会中止により自作印刷商品については実績がなかった。</p>
展示館施設関連商品類(公14)	<p><販売品目> ポストカード/レターセット/ミュージアムフォルムノート/オリジナル名刺入れ/作品アートタイル/シンボルマークキーホルダー/オリジナル菓子類/美術館カタログレゾネ/美術館DVD/千住博の各種著作物/カラーリーフガイドブック等、約550品目</p> <p><販売点数等> 当年度は、販売商品の延べ販売点数は22,366点であった。</p>

[3]収 1-3：展覧会に関する表装代行・親睦パーティー

定款第4条（事業）第1項第（5）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づいて開催した各展覧会に関わる展示作品（入選以上該当作品）の表装代行、および出品者が希望により参加する親睦パーティーの開催に関わる事業を計画したが、写真展の表装代行以外は、新型コロナウイルス感染症の社会情勢により中止となった。なお、展覧会における表装は、材質・形状・色柄等の違いなど本来の作品性とは異なる二次的要素によって作品の本質的な鑑賞が妨げられることを防ぐためにその規格と品質、仕様の統一を図る目的で、あるいは出品者が全国各地にわたり在住地域によっては適確な表装手配に困難を来す場合もあること、あるいは不良梱包などにより表装が発送途上で破損する危険を回避し、表装済作品の嚴重梱包・送付に要する出品者負担を軽減するなど、出品者の利便性確保の目的で、事前に表装代行に関わる料金等を出品要項に記載してこれを出品希望者全員に知らしめた上で当法人が信頼できる専門業者を選定して代行依頼した。また、出品者に対しては、展覧会終了後に、リースの場合は作品のみを、買取の場合は表装した状態のままで返送した。

(イ) 総合写真展（公 1-3）に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装（規定サイズへの紙焼き除く）代行した作品点数
半切	買取	598
	リース	347
全紙	買取	380
	リース	108
合計		1,433
総合写真展の親睦パーティーは中止した		

(ロ) 日美展「水墨画部門」(公 1-3) に関わる表装代行、親睦パーティー
展覧会の中止により、本事業も中止した。

(ハ) 日美展「日美絵画展」(公 1-3) に関わる表装代行、親睦パーティー
展覧会の中止により、本事業も中止した。

[4]収 1-4：貸室

定款第4条（事業）第1項第（5）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および同第（6）号「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づき、貸室料を前払いで月額 200,000 円（税別）、水道光熱費を実費払いとして当法人の展示館施設(公 1-4)の建物の一部（床面積 162.13 m²）をカフェ用に貸室する事業を運営した。

[5]収 1-5：業務受託等

定款第4条（事業）第1項第（2）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、関連通信教育講座の学習指導等に寄与、反映させるべく、「デジタル技術検定」（当法人の自動車、オートバイ、デジタルカメラ関連講座に関連）、レタリング技能検定（当法人の美術品鑑賞・鑑定入門講座、日美展に関連）の試験実施に関わる業務（受験に関わる案内書配布等、試験会場予約、検定委員会運営、試験日の諸対応等）を主催事業として実施した。

(イ) デジタル技術検定

1. 試験実施日

令和2年 6月28日・日曜日（※開催中止）

令和2年 11月22日・日曜日

2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場（準会場）において実施した。

11月（本会場9、準会場41、計50会場）

3. 受験者数、合格者数等

本検定は、情報処理・制御に関する技術をデジタル技術という観点からまとめて評価するもので、当年度は下表の通り、応募者数は1,471人、受験者数は1,329人、合格者数は962人の結果であった。受験料の割引については本会場実施団体および一般会場で受験する団体受験の場合は延べ15名以上受験で10%を割引いて実施した。また、準会場については、新型コロナウイルス感染症対策として、団体には自校・自社会場（準会場）の設置を勧め、かつ促進の観点から、受験料の10%割引きについては割引対象の規定を延べ30人から15人へ引き下げ、設置についても人数制限を撤廃し、最少人数でも本会場に赴くことなく実施できるよう配慮した。また、不特定多数が集う本会場については、感染対策グッズを準備するなど感染症対策を実施した。

受験級	応募者数	受験者数	合格者数
1級情報	51	44	14
1級制御	63	53	11
2級情報	330	301	199
2級制御	419	374	273
3級	466	434	378
4級	142	123	87
合計	1,471	1,329	962

4. 普及活動

工業高校・高等専門学校などの関連する教育機関や企業に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、新聞広告、専門誌への情報提供等により、受験者を募集した。

5. 検定委員等

検定委員は下記学識経験者により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や可否判定等を行った。

日本大学名誉教授：1名／東京工業高等専門学校名誉教授：1名／

東京工科大学教授：1名／日本大学教授：1名

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	1団体	4名(2級以上各1名)
当法人による表彰	3団体	91名(各級合計)

(ロ) ラジオ・音響技能検定

本検定は受験者減少のため、平成 28 年度から休止している。

(ハ) レタリング技能検定

1. 試験実施日

A 日程：令和 2 年 6 月 7 日（日） B 日程：令和 2 年 6 月 13 日（土）

（※上記 6 月日程は中止、下記日程にて延期開催）

A 日程：令和 2 年 11 月 8 日（日） B 日程：令和 2 年 11 月 14 日（土）

2. 試験会場

新型コロナウイルス感染症対策として、本会場は東京会場に一本化。他、特設会場（準会場）において実施した。

11 月（本会場 1、準会場 90、計 91 会場）

3. 受検者数、合格者数等

本検定は、美しく表情豊かな文字をデザインする知識と技能を評価するもので、当年度は下表の通り、応募者数は 2,668 人、受験者数は 2,540 人、合格者数は 1,718 人の結果であった。新型コロナウイルス感染症対策として、団体には自校会場（準会場）の設置を促した。また、準会場の試験監督料の支払いについては、三密防止で教室を複数使用する団体には、1 教室当りの受検者数に限らず必要人数分の試験監督料を支払うなど、受検団体のコロナ対策にも配慮した。なお、受検料は、自主会場の団体受検の場合は 10%を、一般会場で受検する団体の場合は、5%を割り引いて実施した。

受 検 級	志願者数	受検者数	合格者数
1 級	9	9	1
2 級	232	218	74
3 級	1,912	1,837	1,247
4 級	515	476	396
合 計	2,668	2,540	1,718

4. 普及活動

工業高校・専修学校・専門学校などの関連する教育機関や団体に受検案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、情報誌等への情報提供等により受検者を募った。

5. 検定委員等

検定委員は下記学識経験者により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や合否判定等を行った。

デザインオフィス主宰・グラフィックデザイナー：2 名／

デザインオフィス主宰・文字・書体デザイナー：2 名／

会社員・文字・書体デザイナー：1 名／

多摩美術大学造形表現学部デザイン学科講師・

文字・書体デザイナー：1 名／

文筆業：1 名／

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受検または個人受検については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受検に対して	個人受検に対して
文部科学大臣賞	1 団体	2 名
外部団体の表彰		
当法人による表彰	32 団体	116 名 (各級合計)

[6] 「資産取得積立資金」、「特定費用準備資金」、「特定資産」の廃止、変更、新設について

(1) 「資産取得積立資金」のうち「展示施設建替積立資金」については、当法人が公益認定を受けた当時、施設の耐用年数である 50 年後に建替える計画で、総額 985 百万円まで、毎年 1,970 万円積み立てる予定であった。平成 27 年度以降、経常増減額がマイナスであるため、積立金の計上を停止している状況であり、今後も改善される見込みはなく、実現性に乏しいことから、これを廃止し、公益事業目的である下記(2)に転用をすることとした。(現在残高 315,697,000 円)

(2) 「資産取得積立資金」のうち「美術品購入積立資金」については、今年度の購入額が 44 百万円であり、残高が 11,907,331 円となったため、追加として 6 年間で限度額 330 百万円を計上(年間 55 百万円)することとした。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、本年 6 月実施予定の「レタリング技能検定」、「デジタル技術検定」及び、同 8 月開催予定の「日美展」の実施を中止し、また、「軽井沢千住博美術館」では、4 月 7 日から 5 月 21 日まで休館とした。これらにより、各事業の事業収入(前年比約 2 億円減少)が激減しており、事業費及び管理費が賄えない状態のため、「特定資産」より今年度 2 億円を公益目的事業の事業費及び管理費に充当することとした。

(4) 上記同様、コロナ禍の影響により「軽井沢千住博美術館」では 5 月 22 日再開後の入館者数が前年比で 30%以上の減少となっており、来年度以降も入館者数減少の傾向が数年続くものと思われます。展示館施設事業継続のために「特定資産」より「特定費用準備資金」として「事業持続化積立資金」を新設することとした(5 年間で限度額 2 億円)。

以上を令和 2 年 11 月理事会において決議し、実施した。